



いきいき通信 No.6

伊部小学校

2024.7.18 発行

1学期を頑張った子どもたちに、もうすぐ夏休みが来ます。今年の夏も暑くなりそうです。体調に気を付けて、元気に夏を楽しんでほしいと思います。

先日は、4年生の総合的な学習「備前焼学習」がありました。伊部の備前焼に関わっている4名のプロの方にゲストティーチャーとして来ていただきました。夏休みは7月26日から、伊部小学校の窯で先生たちが窯焚きをします。子どもたちにも自分たちの作品が焼き上がっていく様子を見に来てほしいと思います。期間中はいつでも様子を見ることができます。ぜひ、応援にきてください。

1学期も、伊部小学校の教育活動へのご協力、ありがとうございました。



窯のつくり

もようをつける道具も自分で作っているんだ！

丸い形をしているのは、形が崩れないように、全体に火が通るようにするためだったのか・・・

森 一朗さん

学校にある登り窯のつくりについて分かりやすく説明してくれました。昔は穴を掘っただけの窯だったことや窯焚きに使う薪の種類、温度についても教えていただきました。窯に作品を詰めるときには、中に人が入って、作品を丁寧に受け取り、積んでいく作業をすることなど、くわしく知ることができました。



ろくろでの実演

石田 和也さん

ろくろで自由自在にいろいろな形を作って見せてくれました。目をつぶっても、手の指の感覚だけで思い通りの形ができてしまう技能に子どもたちは圧倒されていました。お皿や一輪挿し、壺などを次々と作って見せてくれました。

備前焼ワークショップ

備前焼を広める工夫



森 大雅さん

備前焼の魅力を日本だけでなく世界にも広める活動をされています。色々な国で備前焼づくりを上演したり、外国人作家さんと作品をコラボしたりして、備前焼の魅力について知ってもらう活動をされています。蝶ネクタイやフィギア、スピーカーなど新しい作品づくりに子どもたちも驚いていました。

若い世代の人たちや外国の人に知ってもらうためにたくさん考えていてすごいな。

川や海が近くにあってから運ぶのにとても便利だったんだ・・・

売れない時代にも土管を作ったり、みんなで協力して工夫したりして、備前焼を残そうと努力したんだね。



備前焼の歴史

松熊 健二さん

伊部の地形や自然があって備前焼が生まれたという昔の話から今現在までの歴史について教えてくれました。子どもたちは、用意してくださった地図を見ながら、大昔の大窯が残っている場所を見つけ、備前焼が1000年前の昔の人から受けつがれてきたことを実感しました。



読み聞かせボランティアの方を募集しています！

地域の方・保護者の方で、子どもたちに絵本の読み聞かせをしてくださる方は、伊部小学校（６４－２０６９ 担当：石原）までご連絡ください。朝読書の時間（火曜日の朝）や休み時間をお願いをしています。子どもたちが楽しみに待っています。